



一般社団法人
日本看護研究学会

ニュースレター

第 3 号

2020年9月9日 発行

編集発行

日本看護研究学会

(事務局)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1-4F

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

一般社団法人日本看護研究学会 事務局

TEL : 03-3944-8236 (直通)

FAX : 03-5981-9852

主な記事

理事長挨拶 / 新役員一覧 / 総会報告 / 学術集会情報
お知らせ / 編集後記

理事長挨拶



一般社団法人 日本看護研究学会
理事長 深井 喜代子

伝統ある日本看護研究学会本学会でお世話になって30年を数える今年、私儀、理事長を拝命致すことになりました。甚だ未熟者ではございますが、学会の発展のために精一杯務めさせていただく所存であります。

さて、2019年の暮れ、突如として現れた新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、人類を恐怖に陥れ、感染症 (COVID-19) 流行の終息の兆しもいまだ見えず、世界中の人々を苦しめています。人間がその長い歴史の中で築きあげてきた文化・文明を嘲るような感染症の猛威に、私たちは絶望さえ覚えます。しかし、同時に、医療の最前線で我が身を捧げて戦う私たちの同志、看護実践者の雄姿に、看護学が果たすべき役割を再認識したことでもありました。

そのコロナ禍の只中に、日本看護研究学会は、今期(2020年7月～2022年6月)、新進気鋭の若手委員も加

わった新たな役員体制でスタートを切りました。日本看護研究学会の定款3条(目的)には「本法人は、広く看護学の研究に携わる者を組織し、看護に関わる教育・研究活動を行い、看護学の進歩発展に寄与するとともに社会に貢献する」とあります。コロナ禍において、看護者だから見える現象、看護者が取り扱うべき問題や課題がひしめいているはずです。学会の志に則り、そして看護学の根本理念に立って、今こそ看護独自の視点と方略で、時代が要請する、目前の現状が求めている研究活動を、会員一丸となって鋭意、進めていこうではありませんか。

本学会は、これからも看護実践に資する研究活動を推進・奨励するとともに、コロナ禍関連研究を広く歓迎、支援して参ります。

新役員一覧

一般社団法人日本看護研究学会 2020-2022 役員名簿

理事長	深井 喜代子	理 事	国府 浩子	理 事	布施 淳子
副理事長	浅野 みどり		小松 万喜子		法橋 尚宏
	鈴木 みずえ		佐藤 正美		前田 ひとみ
理 事	阿部 幸恵		佐藤 洋子		森 千鶴
	岡 美智代		塩 飽 仁		矢野 理香
	川口 孝泰		祖父江 育子		若村 智子
	工藤 せい子		高見沢 恵美子	監 事	稲垣 美智子
	工藤 美子		中西 純子		西田 真寿美

総会報告

2020年度定時社員総会報告

2020年度定時社員総会は、2020年7月5日（日）13：00～14：00に本会事務局会議室にて開催されました。今回の社員総会はCOVID-19感染拡大防止の観点から、評議員の皆さまには総会会場へのご来場はご遠慮いただき、オンラインシステムによる議決権行使または委任状の提出でのご参加をお願いする形での開催となりました。

宮腰由紀子理事長*からの挨拶の後、資料に基づいて、会員数の動向、第6回評議員・役員選挙、第46回・第47回学術集会、各地方会の活動について報告がありました。第46回学術集会（城丸瑞恵学術集會会長）はCOVID-19の対応としてオンデマンド形式の学会開催となります。

続いて、2019年度事業報告・決算報告、2019年度学会賞・奨励賞、役員の選任についての審議が行われました。すべての審議事項は、書面表決・委任を含めて集計の結果、出席者の過半数（71名以上）の同意をもって承認されました。2019年度学会賞は今井多樹子氏、奨励賞は高橋方

子氏、伊山聡子氏、中村真弓氏、真鍋知香氏、澁谷幸氏の5論文の受賞となりました。

その後、理事会報告として、2020年度事業計画・予算報告が行われました。また、2020年度の奨学会研究授与について石川恵子氏「日本語Weight Efficacy Lifestyle Questionnaire（WEL）の開発」に決定したこと、2020年度から広報委員会活動が開始されることから広報委員会規程を作成し、理事会にて承認されたことが報告されました。

*理事長 2020年7月5日 総会まで 宮腰由紀子
2020年7月5日 総会以降 深井喜代子



学術集会情報

第46回学術集会のご案内

一般社団法人 日本看護研究学会
第46回学術集会会長 城 丸 瑞 恵
(札幌医科大学)

メインテーマ：当事者とともに創る看護の知

開催方法：2020年9月28日（月）～11月8日（日） Web開催

第46回学術集会は、9月28日（月）～11月8日（日）にWebによるオンデマンド方式で行います。当初は、8月27日（木）・28日（金）の2日間にわたり札幌コンベンションセンターにおいて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を考慮して、Webで開催することといたしました。札幌での開催を楽しみにして下さった方々、また会場開催に向けて準備・協力して下さった方々に心からお詫び申し上げるとともに、諸事情についてご理解いただければ幸いです。

第46回は、当事者である患者・家族の声に耳を傾け、と

もに考え行動することで創られる看護の知の現状と展望について、皆様と考え共有・検討したいと思い学術集会のテーマにし、特別講演・教育講演・シンポジウムなど種々のプログラムを準備いたしました。お蔭様をもちまして300題を超える演題のお申込みをいただきました。本学会にとっては初めてのWeb開催となりますが、参加者の皆様にとって有意義な内容となりますよう、企画・運営委員一同、万全の体制で準備を整えております。多くの方々が御参加いただけることを願っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第47回学術集会の開催について

一般社団法人 日本看護研究学会
第47回学術集会会長 塩 飽 仁
(東北大学)

第47回学術集会は、予定通り2021年8月21日と22日に開催いたします。

テーマは「脳とこころのケアとサイエンス」です。

COVID-19収束の見通しが立たないことから、オンライ

ンでの開催とする予定です。

詳しくは、学会ホームページでお知らせしてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お知らせ

■編集委員会より

『日本看護研究学会雑誌』では、新型コロナウイルス感染症に関連する看護の論文を募集中です。特例として、ファーストオーサーが会員であることのみを投稿者資格とします。迅速査読、迅速出版しますので、詳細はウェブサイトをご参照ください。利益相反自己申告書に責務相反を明記しましたので、投稿時には新しい様式をご使用ください。2021年発行の44巻1号から、英文を最後のページにまとめるなど、紙面変更を行います。

■奨学会委員会より

2021年度奨学会研究募集のお知らせ

募集期間 2020年9月23日（水）から2020年12月4日（金）

奨学金は1題50万円以内で、授与者には、研究成果を誌上発表することが求められます。応募の詳細は、9月20日以降に、学会ウェブサイトで公開します。若手研究者をはじめとした多数の応募を期待しています。

■大規模災害支援事業委員会より

「令和2年7月豪雨」により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ホームページに「2020年度大規模災害支援事業実施要領」を更新しておりますので、被災された会員の皆様はどうぞ申請してください。また、本学会の災害支援事業は看護学生の修学継続支援を目的にしていることが他学会にない特徴ですが、申請には会員の推薦が必要です。被災学生に支援事業の情報提供とともに、どうか推薦の労をとっていただけますようお願い致します。



— 編集後記 —

ニュースレター2020年第3号を皆様にお届けいたします。

今期から新たに広報委員会が設置されました。このニュースレターが初めての仕事になります。ニュースレターやホームページを通して会員の皆様に活用しやすく、また有益な情報を速やかにお届けすべく注力してまいります。

(塩飽／井上)